

令和4年度「現代文B」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	普通科・理数科・美術科	国語	現代文B	2	必修
教科書	精選現代文B 東京書籍				
副教材	新版 図説国語(東京書籍)				

学習の目的

- 1 国語を尊重し、その向上を図る態度を育成する。
- 2 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成、伝え合う力を高める。
- 3 思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

学習の目標

I 知識・技能	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるために、語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。
C 思考・判断・表現	ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書する態度を身につけるために、様々な文章を通して人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。
E 学びに向かう力・人間性等	目的や課題に応じて様々な情報を収集し、活用して進んで表現する。

つきたい力	学習内容を人生や社会のあり方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けることができるための「主体的・対話的で深い学び」を実現することができる。
--------------	---

評価方法

	I	C	E
◇ 定期考査や小テストの結果、課題やレポートの提出状況、学習ポートフォリオ、成果発表状況、作品制作など、総合的に判断して算出します。	○	○	○
◇ 授業に取り組む姿勢としては、予習復習を含む授業態度、グループ活動や発言の状況などを評価の対象とします。		○	
◇ 課題やレポートなどの提出物については、提出期限や分量を守れたか、自分の視点で考察できたか、丁寧に書くことができたかなどを主な評価基準とします。	○		
◇ 考査では、授業での学習内容が理解できているかどうかを確認します。応用問題も出題します。	○	○	
◇ 考査のふり返し学習を行い、学習内容の定着や学びに向かう力を図る参考とします。			○

履修上の注意および学習のアドバイス等

◇ 言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよう、常に心がけ、主体的に学習に取り組む態度を身につけること。
◇ 授業用プリントなど補助教材も有効に活用し、主体的・協働的態度で授業に臨むこと。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	E: 学びに向かう力・人間性		
						I: 知識理解	C: 思考判断表現	
第1学期	4	評論「ミロのヴィーナス」 清岡卓行	○評論学習の基本となる、筆者の主張や考えの要点を文章に即して的確に捉える。 ○筆者の鋭い感性を生かした発想のすばらしさと、常識に反しながら説得力を持つ論の進め方について理解を深める。	1学期中間	「なぜ、失われたものが両腕でなければならないのか？」という問いに対する筆者の考えを、本文に即してまとめよう。	○	○	○
	5	小説「山月記」 中島敦	○文学作品に表現された、人間の喜びや悲しみなどの心情をリアルに捉える。 ○優れた描写を味わうことを通して、ものの見方、感じ方を広げる契機とする。	1学期期末	○「臆病な自尊心」、「尊大な羞恥心」に着目し、虎になった李徴の悲劇はどのようなところにあるか考えよう。 ○虎に変身するという設定は、この小説にどのような効果をもたらしているか。	○	○	○
	6					○	○	○
	7	評論「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫	○日本人の自我の構造と人間関係の把握の様式について、実際の事例や欧米人との比較を通して理解する。	2学期中間	「日本人の自我の構造」の特色とそのプラス面、マイナス面について、欧米人の場合と比較しながら整理しよう。	○	○	○
第2学期	9	評論「読み書きする身体」 港千尋	○「モノとしての本」の重要性を説く筆者の見解を踏まえながら、新しいメディアにどう移行していくべきか考える。	2学期期末	新しいメディアに、どう移行していくべきだと考えるか。	○	○	○
	10	小説「こころ」 夏目漱石	○本格的な文学作品を読むことを通して、人生についての考察を深め、生涯にわたって読書に親しむ態度を養う。 ○小説全体の構成を踏まえ、主題を考察する。	2学期期末	○Kはなぜ自殺したか、本文を手掛かりに、その理由・原因を考えよう。 ○「私」は、Kの自殺をどのように受け止めたか、考えよう。	○	○	○
	11					○	○	○
	12					○	○	○
第3学期	1	短歌	○短歌独特の表現技法について学ぶ。 ○連作という形式で歌人が表現しようとしているものを理解する。	学年末	それぞれの歌から、どのような情景や心情を読み取ったか、話し合おう。	○	○	○
	2	評論「日本人の美意識」 高階秀爾	○日本の美や文化についての関心を深めるとともに、この美意識が私たちの生活行動や生活感覚にまで及んでいることについて考察する。		日本人の美意識と西欧人の美意識とは、どのように違うか。「うつくし」「きよし」という言葉に対応させながらまとめよう。	○	○	○
	3						○	○

※行事等で変更になる場合があります。